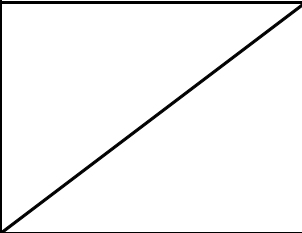
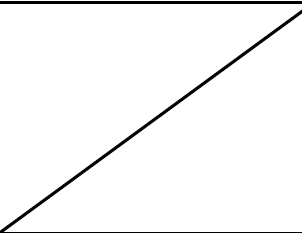
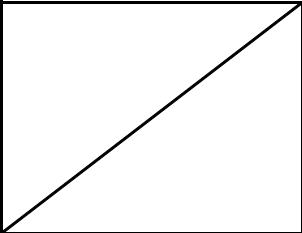
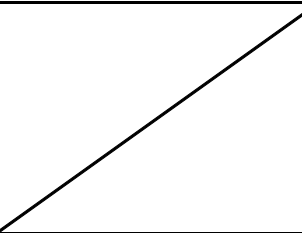


地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県・甲州市	地域再生計画名	「森林・観光」資源を活用した甲州市地域活性化計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、耕地課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	観光入込客数の増加	1,942,528人	R 1	1,954,096人	R5	1,168,996人	1,971,449人	R7		×	指標 総数		達成 数
指標 2	主間伐搬出量の増加	29,664m3	R 1	46,959m3	R5	71,427m3	62,296m3	R7	○	3	1			
指標 3	農産物出荷量の増加	327t	R 1	327t	R5	314t	338t	R7	×					
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み									
	特別措置を適用して行う 事業	広域農道整備事業（整備延長）		1,000m	447m	1,000m	概ね計画行程どおりの進捗となっており、引き続き計画に則した整備を目指していく。							
		林道整備事業（整備延長）		6,000m	2,347m	4,637m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は39%と遅れが生じている。今後は更なる事業の進捗を図るため、十分な予算を確保しつつ整備を推進していく。							
	その他の事業													
	計画外で独自に実施した 事業	森林環境保全整備事業		搬出間伐等の森林施業と一体になった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を計画的に進めたことにより、林業経営の効率化の推進に寄与した。							
		おもてなし森林景観創出事業		森林景観形成・修景施業を行う			観光振興のための良好な自然環境及び景観の保全を図るため、森林景観形成・修景施業を実施した。							
		造林補助事業		計画的に植栽や間伐等の森林施業を行う			植栽、下刈り、間伐等に対し補助を行うことにより、林業経営の健全化に寄与した。							
		県有林収穫事業		県有林内における木材の収穫			県有林内において収穫事業を行い、木材の計画的・持続的な供給に寄与した。							
山村地域活性化林道整備事業		山村地域における林道の整備			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。									
経営体育成基盤整備事業		土地改良事業を行う			地域における土地改良事業を総合的・一体的に実施した。									
畑地帯総合整備事業		作物の生産基盤の整備等を行う			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。									
甲州フルーツマラソン大会		甲州路を駆けるマラソン大会を行う。			新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。									
甲州かつめまぶどうまつり		甲州市勝沼で行われる1年の収穫を祝う祭り。			甲州かつめまぶどうまつりを開催し、県内外から多くの観光客が訪れた。									
③評価方法		中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法		山梨県、甲州市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価		本地域再生計画では道整備推進交付金を活用して農道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワーク網を整備することで幹線道路等の渋滞を緩和しアクセス時間短縮を図り、観光入込客数や農産物搬出量、木材搬出量の増加により地域の活性化に寄与することを目的としている。 なお、指標 1 の観光入込客数の増については、中間目標値を下回っている。前年度実績も下回ることとなったが、これは令和2年度から継続的に続いていた旅行支援政策が終了したことによるものと考えられる。しかし、計画初年度の令和3年度と比較すると観光入込客数は増加しており一定の効果が確認されるため、引き続き計画に則した整備を図り、最終目標値の達成を目指す。指標 3 の農産物の生産性向上については天候不良により出荷量が中間目標値を下回っているが、引き続き計画に則した農道整備を図り、安定的な農産物の出荷を目指す。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無）													
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円													
⑦今後の方針等に対する 対応														

地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県	地域再生計画の名称		「森林・観光」資源を活用した甲州市地域活性化計画			
施行主体	山梨県、甲州市	計画期間		令和3年度～令和7年度			
地域再生計画の概要	甲州市は、秩父多摩甲斐国立公園に指定されている大菩薩山系や秩父山系の森林と、そこを源とする清らかな河川を有し、これらによって形成された扇状地には県下有数の果樹地帯が広がり、年間を通じて多くの観光客が訪れているが、地域内の各拠点を結ぶアクセス道の連携が脆弱であり、利用面において課題が残る状況である。一方で、市内の森林資源は利用時期を迎えた人工林が森林全体の8割を占めており、今後は大型車両等による伐採搬出が増加することが期待されている。また、市内における果樹農業は基幹産業であり、その生産量や質の高さは全国有数の産地となっている。中でも、日本固有のぶどう品種「甲州種ぶどう」から造られる「甲州ワイン」は山梨を代表するワインであり、官民が連携してワインを中心に地域資源を活用し、観光振興を図るワインリゾートとしての取組が進められている。 このような背景から、広域農道、林道を連携して整備することで、本市の観光拠点となる大小40を越すワイナリーや多くの観光農園を有する勝沼地区を中心に、市内の武田家ゆかりの神社・仏閣・庭園や大菩薩山系などの各観光拠点へと通じるルートを整備し、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築を図る。また、各農業施設からの農産物流通の合理化及び林業拠点から勝沼ICへと搬出される輸送ルートの機能向上を図り、トレーラ等による搬出ルートを構築し、農林産業の効率化を図る。なお、本計画路線は国土強靱化地域計画に位置づけられているものである。						
地域再生を図るために 行う事業	広域農道「東山東部地区」の農道保全対策事業を行う。また、県営林道「日川左岸線」の開設事業、「鈴庫山線」及び「焼山沢真木線」の改良事業などを実施する。これにより、森林施業に必要な林道網の整備を行う。これらにより、農道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。 加えて、運搬ルートの構築により森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、地域産業だけでなく地域全体の活性化に寄与する。						
主な計画道路の 整備状況写真	東山東部地区 (着工前) (R5末時点)						
							
主な計画道路の 整備状況写真	県営林道 日川左岸線 (着工前) (R5末時点)		県営林道 鈴庫山線 (着工前) (R5末時点)		県営林道 焼山沢真木線 (着工前) (R5末時点)		
							